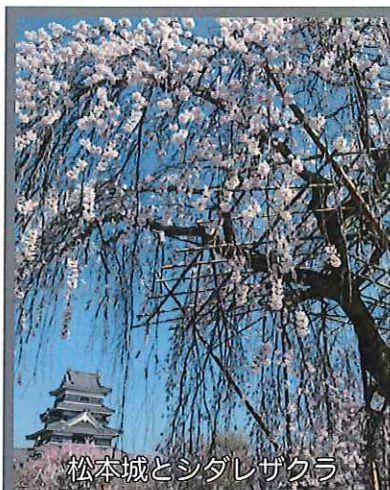


清友

No.104

2018年4月



松本城とシダレザクラ

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

安倍政権は退陣を！

4月と5月に 4つの大きな行動



政治の私物化を許さない！
(森友疑惑追及国会前大行動)



労働法制改悪反対！資本の好き勝手を
許さない！(日比谷メーデー)



安倍9条改憲NO！
(憲法集会)



美ら海壊すな！土砂で埋めるな！
(国会包囲)

典型的政治の私物化である森友学園疑惑の追及と安倍政権の退陣を求め、4月14日に国会前で大行動が取られます。労働法制改悪は、企業優位の国づくりのためです。安倍政権打倒を掲げ、5月1日に日比谷メーデーが行われます。

安倍9条改憲にNO！戦前回歸を理想とするような安倍に改憲をやらせるわけにはいきません。今年も5月3日に「憲法集会」がもたれます。

安倍政権は、県民の意思を

無視し、強権により沖縄の米軍基地を増強しようとしています。5月26日の国会包囲で新基地建設を止めましょう。

これらの行動を、退職者会は全力で取組みます。

- 森友学園疑惑徹底追及！安倍内閣総辞職！国会前大行動
▽4月14日(土) 14時
▽国会正門前(憲政記念館側)
- 日比谷メーデー
▽5月1日(火) 9時30分集合
▽日比谷野外音楽堂
- 憲法集会
▽5月3日(木) 13時
▽有明防災公園
- 美ら海壊すな！土砂で埋めるな！国会包囲行動
▽5月26日(土) 14時
▽国会周辺

公的年金をめぐる 状況と今後の課題 都庁退学習会



「年金制度は難しい」と言われますが、要するに、私的扶養の社会化です。能力に応じて抛出し、必要に応じて配分される制度です。

3月29日、清掃会館で東京都庁職員退職者連合会学習会が開かれました。テーマは、「公的年金をめぐる状況と今後の課題」、講師は自治退事務局長川端さん。学習会は、昨年秋季の自治退都本部定期総会と都庁退定期総会で「年金のマクロ経済スライド調整と名目下限」をめぐる議論を踏まえ開催されました。以下、川端さんの講演内容をまとめました。

年金制度の基礎知識

(1) 社会保障は私的扶養の社会化。病気・介護・失業のリス

クに各公的保険。高齢期の稼げないリスクに年金保険。
(2) 公的年金は積立ではなく拠出方式。現役世代の掛金が年金受給者に支払われる順送りの仕送り。集めて配るので、保険料の範囲でしか配れない。

年金財政改善の方法

- (1) 将来世代が貧困に陥らない年金制度を残すことが必要。
- (2) 集める金額を増やす方法は、①高齢者・女性の就労増。②短時間労働者の加入増。③基礎年金を65歳まで納付など
- (3) 支給開始年齢引上げはダメ。

将来世代に被害が及ぶから。
(4) 04年制度改正で、保険料に天井を設け、払う分を工夫する方式に。100年先の見通しを立てて5年ごとに検証。

(5) 14年年金財政検証で、①デフレ下のマクロ経済スライド実施、②短時間労働者の年金保険適用拡大、③保険料抛出現期間延長を提起。短時間労働者の拡大は今年の検討の焦点。企業は負担増を嫌がっている。
(6) 三号被保険者（給与所得者の配偶者）は本来解消すべき。相当数が短時間労働者なので、適用拡大で相当数が収束可能。

マクロ経済スライド

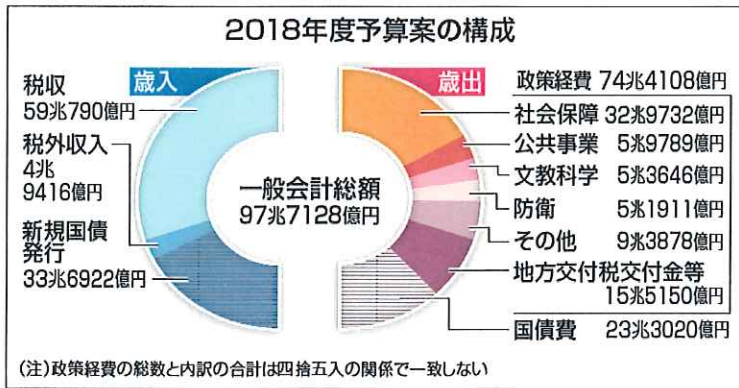
(1) マクロ経済スライドは、04年改定で年金給付固定から保険料総額の範囲内で年金抑制する方式への変更に伴い導入。
(2) マクロ経済スライドの仕組みは、支え手（年金被保険者数）の減少↓過去3年平均で調整（導入当初0.6%程度想定）、受給者の増（平均余命の伸び）↓将来見通しの調整率（25年までは0.3%）の計0.9%で標準試算。ただし、現受給額を割り込まない「名目下限」導入。

(3) 「名目下限」により、賃金（物価）がスライド調整率を上回らないと、効果が薄くなる。実際の発動は14年のみ。現行制度下では、現受給者の年金を早めに下げないと、調整期間が長くなり、将来世代の受給額も減り続ける。

(4) 今年から「名目下限」維持のキャリアオーバー方式でデフレ時のマクロ経済スライド適用。
(5) マクロ経済スライドは、概ね100年後に一年分の積立金の見通しがついた時点で終了。所得代替率が50%を割ることが見込まれるときも終了。

今後の制度見直し検討

(1) 日本は人口減時代に入った。稼ぎの総額は減る。その範囲で再配分するしかない。
(2) 現在は将来世代から年金資産が移転されている構造。一旦起きた移転は回復しない。
(3) 雇用改善と賃金改善があれば、年金は減らない。雇用と賃金改善が実現しなければ、孫・ひ孫の所得代替率に配慮する痛み分けが必要。そのため「名目下限」の見直しも視野に入れる必要があるのでは。



18予算

予算総額と防衛費は過去最大を更新、社会保障費は過去最大を刷新、1300億円抑制

過去最大の予算額

18年度予算は、3月28日に参院で可決・成立しました。予算規模は97兆7千億円、6年連続で過去最大を更新しました。北朝鮮のミサイル対策等を理由に防衛費も5・2兆

● 社会保障費の抑制内容

高齢化等による自然増	6,300 億円	
増	診療報酬改定 (医療 0.55% 介護 0.54% 福祉 0.47%)	780 億円
減	薬価引下げ (実勢価格改定等)	△ 1,555 億円
	新薬創出加算対象絞込み等	△ 310 億円
	医療・介護の自己負担増等	△ 400 億円
	①高額医療費負担限度額引上げ、②後期高齢者保険料軽減措置見直し、③高額介護サービス費負担限度額引上げ等	

円と過去最大になりました。社会保障費は、「骨太方針15」に基づく16～18年度3年間の社会保障費自然増を1・5兆円に抑制する方針により、最終年の18年度では社会

社会保障費圧縮が前提

薬価除く報酬は増改定

18年度は2年に1回の診療報酬改定と、3年に1回の介護・障害福祉サービス報酬改定が重なる6年に1回の同時改定でした。診療報酬のうち「薬価」は1・74%減、薬価を除く医療・介護・障害福祉サービスの報酬は780億円増でした。各サービスの改定内容は利用者の負担を伴います。

来年自己負担増再浮上

抜本的改善が求められる生活保護費

生活保護受給額（生活費相当分）は来年秋から3年かけて平均1・8%引き下げられ、5年前の前回改定に続く引下げで、「憲法が保障する最低限度の生活」の維持が困難な状況と指摘される事態です。生活保護費引下げが続く原因は、低所得世帯の消費水準にあわせた受給額決定方法にあり、格差と貧困の拡大がそ

社会保障費圧縮は、(1)薬価引下げ、(2)新薬創出加算（新薬の価格維持制度）の対象絞り込み、(3)昨年決まっていた医療・介護の自己負担増（別表参照、400億円）などにより、3報酬改定の増額分780億円を吸収してなお、社会保障費の自然増を4997億円に抑制したとしています。

消費税引上げ見送りの継続による財源不足対策として、安倍政権は、社会保障費抑制を目指して「骨太方針18」を策定するとしており、医療・介護の自己負担増などが再浮上してくる可能性があります。

のまま反映していることです。12年に政府が実施した「最低生活必要額」の試算は、夫婦と小学生の子の3人家族の家賃含む消費額は月49万円でした。これが「憲法が保障する最低限度の生活」です。生活保護費の抜本的な改善が必要です。



東京清掃第88回定期大会

難局を切り拓く闘いを



● 桐田委員長

大会開催にあたり「①17賃金確定闘争で、永年の課題だった昇給調整措置を廃止し、担当技能長制度を獲得した。組合員の闘いの成果だ。」

3月18日、東京清掃第88回定期大会が連合会館で開催されました。

● 3月開催に
昨年9月の大会で、自治労働本部の大会開催時期との関係などを考慮して、定期大会を3月開催に変更しました。変更後初めての本大会です。

②森友学園疑惑は断じて許せない。安倍政権に抗して平和と民主主義を守る闘いを進める。③住民のための清掃行政確立へ向けた取組みと同時に、委託労働者の労働条件改善を自らの課題として取組む。」と決意を示し、「私事だが、今大会で退任する。お世話になり感謝する。」と挨拶しました。

● 庄司退職者会会長
来賓挨拶で「皆さんの物心両面のご支援に感謝する。現

役組織には直営を守る闘いを更に強化してほしい。退職者会は100名を超えた。平和を守る闘いを現・退一致の精神で強化している。みなさんの協力を得て会員拡大を図りたい。」と、激励と要請をしました。



● 主な大会の議論

昨年の9月大会で来年3月まで1年半の運動方針を確立しているため、今大会の主な議案は①賃金闘争総括、②組織整備方針総括の視点、③会計予算案でした。

賃金闘争総括の中で代議員から、①賃金が上がらないため若年層は生活が苦しい。技能主任昇任の資格基準緩和等、将来に希望の持てる人

東京清掃本部常任体制

- 委員長 染 裕之 (本部直属)
- 副委員長 坂本 浩明 (玉川)
- 副委員長 多田修一郎 (江戸川)
- 書記長 中里 保夫 (江戸川工場)
- 書記次長 田口 康乗 (江東)
- 常任中執 森田 裕二 (港)
- 常任中執 倉貫 克志 (新宿)
- 常任中執 渡辺 歩 (葛飾)
- 常任中執 西村 好勝 (多摩川工場)
- 常任中執 江森 秀稔 (玉川)
- 常任中執 坂部 貴之 (練馬)

事制度確立を。②東京清掃は現業労組だが、行政系組合員も多数いる。行政系組合員の課題も取り扱うべき。」という意見と要望が出されました。

● 新体制で難問に挑戦
今大会で、桐田委員長、野崎常任中執が退任し、新たな四役・常任体制は別記のとおりになりました。

日本の労働運動が地盤沈下している状況の下、これからも極めて厳しい闘いを強いられると思いますが、首都東京の労働運動の先頭に立って闘う気概をさらに強めて、頑張っていくことを期待します。退職者会は応援していきます。



新採獲得が最大の課題 明るく楽しく元気な 運動を目指して

東京清掃委員長インタビュー



3月18日開催の東京清掃定期大会で、15代委員長に就任した染さんに、東京清掃の中期の課題や抱負を伺いました。

新採獲得へ向け 外への発信力を強化

何をおいても新採獲得が最大の課題。当局との交渉や実力闘争だけではなく、住民を

味方につけることと、議会対策を行うことが必要です。

一昨年、東京清掃がつくったDVD「自然にやさしく人にやさしく」を観て「清掃ってこんなこともしていたの、知らなかった」という反応があり、外へのアピール不足を痛感しました。ふれあい収集

など公務員でないといけないことの発信が重要です。現在、工場版DVDを作成中です。

井の中の蛙ではダメ
若者は荒野を目指せ

来年は70周年。伝統を若い世代に引き継ぐため、諸方面の人を講師に中執学習会等をやっており、更に充実させたい。井の中の蛙ではダメです。

アホノミクスが日本をダメにする 東京高退連学習会 「浜矩子さんの講演」

東京高齢・退職者連合の学習会が、2月14日、田町交通会館で開かれ、柳副会長が参加しました。テーマは「成熟経済日本をどう輝かせるか」大人の感性、大人の知恵。講師は同志社大学教授の浜矩子さん、アベノミクスをアホノミクスと言ひ、メリハリがあ

りわかりやすい講演でした。

「安倍政権は一強と言うが、それほどではない。昨年の選挙も小池劇場に助けられた『辛うじての現状維持』。安倍政権は次々にスローガンを発して目をくらます。『一億総活躍』も『働き方改革』もお国のための基盤と労働者づくりだ。」

「日本はデフレから脱却できない。待機児童ゼロや国の借金が大問題。女性の活躍をスローガンにしたが、日本は世界経済フォーラム男女平等指数で144国中114番。いい感じに大人になった成熟経済の日本に必要なのは『分配』。上手に分け合うことが大事なのに、子どもの貧困率14%。ヒト、モノ、カネの活動をアホノミクスが破壊している。分配を重視する『ケアリングシェア経済』を提起したい。」

昨年、公共サービスキャンペーンを地連別にやって支部の力量強化に役立ちました。外へ出ていく行動が組織強化につながりますので、積極的に進めていきたいと思ひます。

明るく楽しく元気の出る運動を進めたい

定期大会でも話しましたが、労働運動は暗い、怖いというイメージがあります。これを払拭するため、明るく楽しく、やってよかったと言える運動を目指したいと思ひます。退職者会の皆さんには、今後ともアドバイスをお願いします。

アベノミクス三本の矢は実態がないとのこと、矢を放つのは那須与一だけでいいと思ひました。お話を聞いて安倍内閣に一言。「たったひとりしかない自分を、たった一度しかない一生を、ほんとうに生かさなかつたら、人間生まれてきたかいがないじゃないか。」(山本有三「路傍の石」より)(柳)



講師の浜矩子さん ※2/14講演会の写真ではありません。

安倍も麻生もヤメろ！森友疑惑徹底追及

3月27日に行われた佐川前理財局長の証人喚問は、明らかに偽証罪に該当する内容でした。3月13日から、疑惑追及国会前連続行動が取生まれ、少ない時でも千人、多い日には5千人が声を上げました。退職者会も連日頑張りました。安倍政権の逃げ切りを許すわけにはいきません。これからもしっかり追及の声を上げましょう。



3月15日夜の集会



3月22日夜の集会



3月16日昼の集会



3月23日夜の集会



3月19日夜の集会



3月27日昼の集会



3月28日夜の集会



日本で働く全ての労働者の連帯と、日常的な差別にさらされている外国人労働者の生活と権利の改善を訴えて、「ここにある多民族・多文化共生社会」マーチ・イン・マーチ」が、3月4日、上野公園で開かれました。100万人を超える外国人労働者が日本に働いています。日本政府は、彼らの無権利状況を無視しています。集会では、騙されて福島除染作業に従事させられ、苦情を言うところ「イヤなら帰れ!」と恫喝されたなど、ひどい状況が報告されました。集会後、サンパ隊を先頭に、上野の街の中をデモ行進し、外国人の権利確保を訴えました。ガンバレ!



日本航空が10年の年末に、客室乗務員とパイロット165人を不当解雇してから8年目。組合つぶしの狙い撃ち解雇によりベテランを切ったJALは、人手不足が深刻化し、トラブルが続発しており、JALの安全運航監視に対し世界から批判が集中しています。「私の代で解決したい」と発言した植木社長が3月末で交代するこの時期に焦点を当て、争議解決を迫ろうと3月26日に本社前大包围行動が取り組まれました。一日も早い争議解決を勝ち取るため、協力していききたいと思います。(押田)

3・11を風化させるな！ 原発再稼働反対！ 避難者の生活を奪うな！

福島第一原発事故から7年。

破壊された原発の廃炉は全く目処が立たず、高濃度の放射能汚染水が流出し、下請作業員は被爆し続けています。避難している人は未だ5万人を超え、多くの方が生活に不安をかかえ、差別されています。

東電本店抗議行動

「東電は福島第一原発の事故の責任をとれ！事故収束と被害者救済を優先しろ！放射能汚染水止めろ！柏崎刈羽原発再稼働反対！避難者の住宅を奪うな！」。3月11日、東電本

店前に福島現地をはじめ各地から約千人が集まり、東電抗議行動が行われました。



各電力が無責任にも原発を再稼働しているのは、東電を実質的に免責している構造があるからです。断じて許せません。

さようなら原発集会

3月21日、雪が降る寒さの中、「さようなら原発全国集会」が代々木公園で開催され、約1万人が参加しました。

福島から子ども被ばくの事態、被曝労働者から被曝の責任を問う裁判の状況、切捨てが進む自主避難者から心情が語られ、東海村前村長村上さん、労組青年部などによる「フクシマ連帯キャラバン」隊や、脱原発法案提起者などから、「東電に事故の責任をとらせよ

2018 原発のない福島を！ 県民大集会



福島第一原発は事故から7年経った今も収束していません。それにも関わらず政府は、「もう安全だ」と無理な帰還政策を押し進め、避難者への補助を打ち切り、全国の原発を次々再稼働させています。原発被害に直面し生活を奪われ、放射線による健康被害に不安を抱える福島の人々にとって、安倍政権の姿勢は許すことのできないものです。その怒りを全国の闘いにするため、「2018 原発のない福島を！県民大集会」が3月

17日、福島県楢葉町の天神岬スポーツ公園で開かれ、全国から3300人参加しました。

今回の集会は、被災地の厳しい現実を知ってもらいたいという想いから、15年9月まで避難指示区域だった楢葉町が会場に選ばれたのです。

集会ではゲストの鎌田慧さんや呼びかけ人の武藤類子さん、避難者の浪江町住民、高校生平和大使等が挨拶し、会場全員で「原発NO！」のポスターを掲げて原発のない社会の実現を誓いました。(押田)



う、被災者の切り捨ては許さない、原発ゼロを早期に実現しよう、安倍政治を終わらせよう」等の訴えがありました。雪のため、デモは中止しましたが、熱気があふれる集会になりました。